



女性協議会

活発な議論が 交わされる

女性協
拡大会
委員会
開く

各地連の女性協議会代表が集まる拡大会委員会が、7月18日、東京・四谷の民放労連で行われました。各地連の現状報告とともに活発な議論が交わされました。以下に委員長の報告をまとめます。

◆札幌テレビは、春闘開始後、赤子見通しから黒字になることが判明。特別一時金が別途支給され、社外スタッフへは、ギフト券が支給された。◆テレビユー福島では、社員証を作り直すにあたり、既婚女性の旧姓使用者について、一律で新規で作成。「職務で支障をきたしたら検討する」としている。◆日本テ

レでは、会社側が管理職に對し、給与と賞与の一部自主返納を要請。断ることのできない状況。◆テレビ朝日は、都内で新型インフルエンザが確認されたことを受け、「通勤や人混みで感染を気にする妊婦で、時差通勤を希望する場合は上司に申し出るよう」と通達。◆テレビ東京は、会社側から「新賃金制度導入（成果主義）と業績連動を一緒に盛り込んだ」の提案があり、会社説明会が行われたが組合は拒否。会社側は成果主義の導入を撤回して、引き続き交渉中。◆北日本放送では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき「一般事業主行動計画」



各地連の代表が現状報告

◆関西テレビは、迅速な情報共有・開示の必要性を会社が確認。要求案件に關して、組合と話し合う労働委員会を設けることに。◆広島テレビでは、育休が最大三年に無給。◆愛媛朝日テレビでは、女性の契約社員二人が採用試験

ため、春闘が安堵しなれば、基本給が未記入のまま更新の印を押さなければいけない場合も。◆テレビ金沢は、春闘の回答が定昇をカッとするものであったため、定昇確保の一点で7月10日現在、闘争中。◆朝日放送では、育児時給勤務者のフレックス勤務制度が導入された。

◆関西テレビは、迅速な情報共有・開示の必要性を会社が確認。要求案件に關して、組合と話し合う労働委員会を設けることに。◆広島テレビでは、育休が最大三年に無給。◆愛媛朝日テレビでは、女性の契約社員二人が採用試験

生命を育て生命を守る 第55回日本母親大会

今年「第五回日本母親大会」は京都市で、7月25日（土）26日（日）の二日間「生命を育て生命を守る」をテーマに開催され、約1000名の女性が全国から参加した。◆大分放送では、一年ぶりに女性の一般職

うなんてとんでもないこと。戦争はいのちの奪い合いで、とんでもないことと述べ、「日本には憲法九条があるから平和。憲法九条をまもりましょ」と訴えました。

◆愛媛朝日テレビでは、女性の契約社員二人が採用試験

◆愛媛朝日テレビでは、女性の契約社員二人が採用試験

裁判員制度をテーマに 東京支社に働く女性の集い

第二回同民放・東京支社に働く女性の集い「あなたならどうする? 裁判員になった時」が9月5日（土）東京・内幸町のプレスセンターで開催され、OG、OBを含め20名が参加した。前半は、共同通信記者を経て四〇代で弁護士になった北神英典氏による「もう裁判員」になるために「それでも参加しなければならぬあなたへ」と題した講演。裁判員制度の概要と導入の経緯、各国の司法参加



多くの質問が寄せられ盛り上がった

められた。裁判員としての役目を終えた後も守秘義務があり、罰則規定もあることに対して「おしゃべりなので、守秘義務を守る自信がない」との声も。「死

言もあった。講演の前に、7月20日にNYの国連本部で開催された「第六次CEDAW（女性差別撤廃委員会）『日本レポート審議』」の傍聴報

告が、SPユニオンの古守恵子さんによって行われた。2008年の審査で女性差別撤廃への問題点解決を勧告され、ながら充分な取り組みがされていないことなど、日本の対応の遅さが浮き彫りになった。

京都府教会理事長で金閣寺・銀閣寺のご住職である有馬頼底さんの「いのちの輝き それは平和とあればこそ」と題した記念講演があり、仏教の不殺生の教えとして「虫でもなんでも生きていく一つひとつのいのちに輝きがある。それを奪

ただでなく飢餓・貧困・環境破壊や人権抑圧などについても提示して、それらの総合的な展示によって「平和」を学べるようになっていいます。ミュージアムを見学していると、その時代に生きた人達が、平和の尊さを語ってくれているように思えました。